

Ⅲ-④ 防災啓発コミュニティの始まり(地域の防災士に学ぶ)

附属坂出学園運動会(9/28)に来てくださった地域の自治会長様から学園地区の5自治会合同の防災訓練の案内を受け、幼小中の3名の副校長が参加した。当日(R1.10.13)は台風19号のため訓練は中止となったが、防災士である自治会長様より、学園地区の南海トラフに備えた防災についての話聞くことができ、これから附属坂出学園と一緒に、学園地区の共助、自助、公助を進めていくことの必要性を感じた。

自治会長様は附属坂出学園の卒業生で現在77歳。自ら、海拔3m、避難所として活用可能な被服工場の跡地を購入、工場の鉄骨建物を利用し普段は卓球場を経営、いざというときには、避難所として活用している。卓球台は避難所のテーブル代わりにとても役立つとのこと。

学園地区はその名の通り、高校が3つ、中学校が1つ、小学校が1つ、幼稚園が2つと、半径300mの狭い地区の中に2200人の子供が学んでいる。香川県では一番の密集度。南海トラフが起きれば、子供たちは必ずパニックになる。そこにいる皆で協力して備えておくことが大切と熱く語っていただいた。

副校長一同、学園地区の防災プランを聞き、防災意識の高さに感銘するとともに、今後、坂出市危機管理課や地域の防災士様の助言をいただきながら、附属坂出学園が学園地区の他校へも働きかけながら、地域と一緒に「防災啓発コミュニティ」を進めていく大切さを痛感した。

今年度は、1月頃、学園地区の自治会と各学校に案内を出し、香川大学危機管理先端教育研究センター長の白木特任教授による、「学園地区に起こりうる被害とその対策について」研修会を行う予定である。また、最大津波時の安全エリアである附属中学校を坂出市立幼稚園児の避難所としての活用も計画中である。



この立てかけている大きなテーブルを横にすれば、調理場ができる。包丁等の炊き出しの準備物を常備している。卓球場にしたのは、避難したときにテーブルとして活用できるから。この場所は海拔3mで安全エリア。



工夫することが大切。土嚢の役割を水で行うものを工夫し特許もいただいた。水害時に有り余る水を土嚢代わりに活用できないかと考えた。

雨水を樋から簡単に集める装置も工夫している。



地震の際は、安全エリアへ避難させることが一番。古戦場自治会では誰が誰を助けてどこへ逃げるかすべて決めている。

下の写真のように高齢者でも通りやすいように、所々、ブロック塀を切断している。

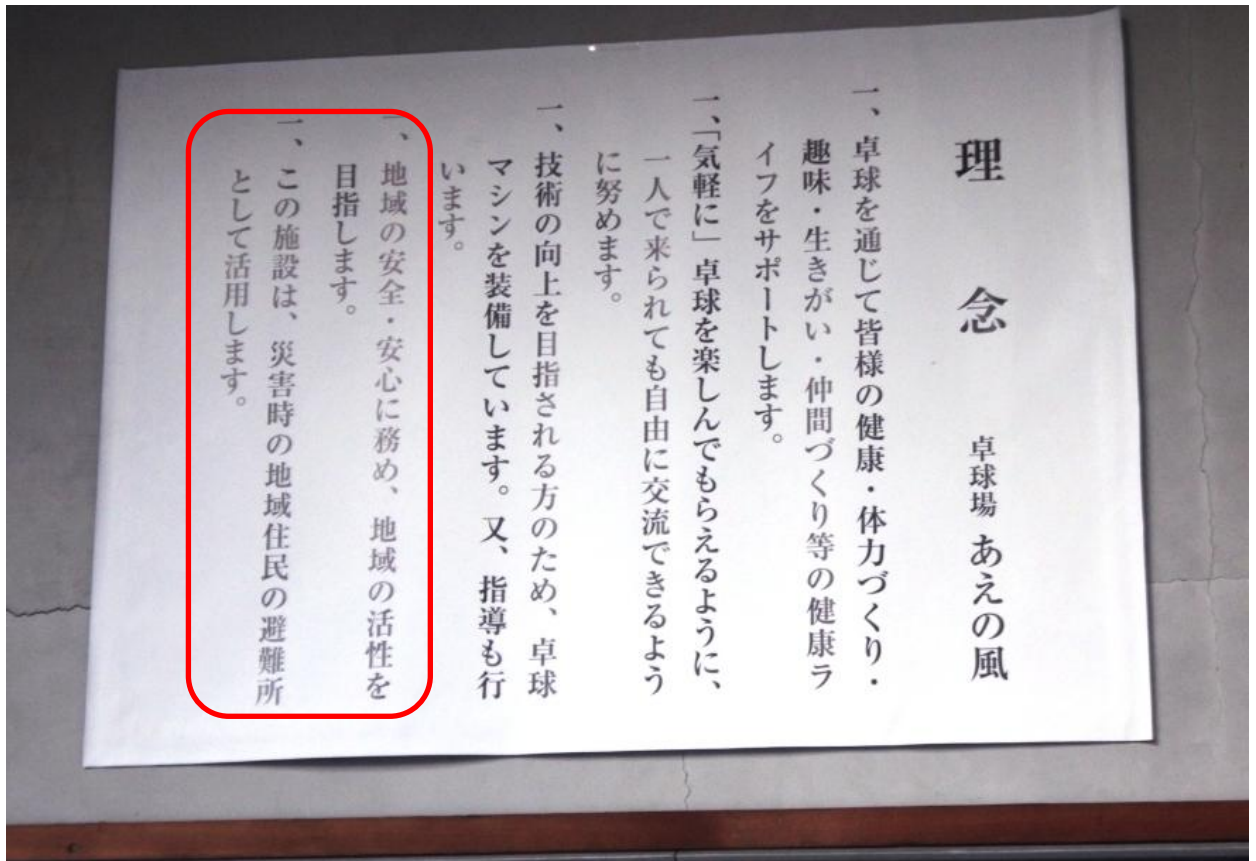


高齢者も通りやすいように

昔、この近所に氷工場があった。氷工場の飲料用の井戸と同じ水脈の井戸を掘り当てた。避難時には飲料水として使える。飲料水を確保することはとても大切。



飲料水用の井戸



理念を卓球場に掲示

令和1年 9月20日

古戦場自治会 各位

古銭場自主防災会
会長

秋季防災訓練のご案内

地球温暖化が海水温の上昇をもたらし、残暑の激しい毎日ですが、皆様方には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は、自治会並びに防災会の活動に、ご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

表記、防災訓練を下記の日程、訓練項目で開催いたしますので、ご多忙の所、恐縮とは存じますが、多数の方のご参加を頂きますよう、ご案内申し上げます。 (尚、出欠は、10月7日(月)までに、区長迄お届け下さい)

記

- 1 日時 令和1年10月13日(日) 午前9時～12時
(受付は、午前8時45分)
 - 2 場所 卓球場「あえの風」
 - 3 訓練項目
 - ① 初期消火訓練(水消火器使用)、簡易担架組立搬送 ……消防署
 - ② 心肺蘇生訓練 ……消防署
 - ③ 防災資機材取扱訓練 ……自主防災会
(発電機、チェーンソー)、ロープワーク
 - ④ 講話 「風水害への対策と対応」 ……坂出市危機監理課
 - ⑤ 炊き出し訓練(薪での炊飯[おにぎり]、だんご汁) ……給水給食班
- < 隣接の自治会の訓練への参加協力を要請します >